



「こころの健康について考えよう！」（SOS の出し方教育）

テキスト講習会

教育現場において、若年者の自殺対策の理解を深め、府内の各地域で「こころの健康について考えよう！」（SOS の出し方教育）を企画・実施できる人材を養成するため、テキスト「こころの健康について考えよう！」の活用方法、実践報告を含めた講習会をLive 配信で実施します。ぜひ受講してください。

日 時 令和4年7月28日（木）13時30分から16時10分

方 法 Zoom による生配信

対 象

- ◆府内（大阪市・堺市除く）市町村教育委員会・教育支援センターの指導主事、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等
- ◆府内（大阪市・堺市を除く）の小学校、中学校、高等学校、支援学校の教職員・教育関係者（生徒指導担当・保健担当等含む） 【定員 50 名】

内 容

- 若年者の自殺対策について
～ゲートキーパー養成研修基礎情報編 若年者支援～
- テキスト「こころの健康について考えよう！」の説明・演習
- テキスト使用の手順
- 実践報告
- 質疑応答

その他 講師用テキスト、受講者用テキストは送付・郵送で送付します。

[申込み方法] 申込みフォームから直接お申込みください。

- ①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数
- ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇市教育委員会、△△市立□□中学校）
- ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦受講動機

[申込み先] こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>（研修→ [自殺対策研修](#)→「J-2」）

申込みフォーム <https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukild=2022060093>

[申込み締切り] 令和4年7月14日（木）17時まで

[受講後アンケート] 令和4年8月4日（木）17時まで

*複数で視聴された場合も、1人1回ご回答をお願いします。

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukild=2022060097>

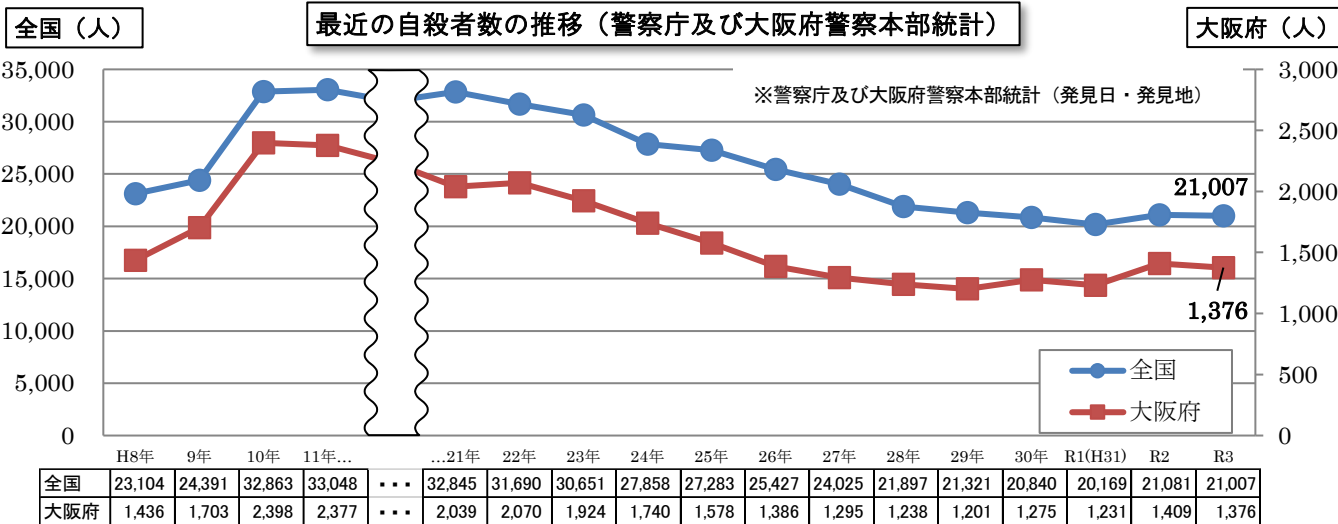
[問い合わせ先] 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当：甲田・南・伊藤
電 話：06-6691-2810（課直通） F A X：06-6691-2814

大阪府の自殺の現状



自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。

生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



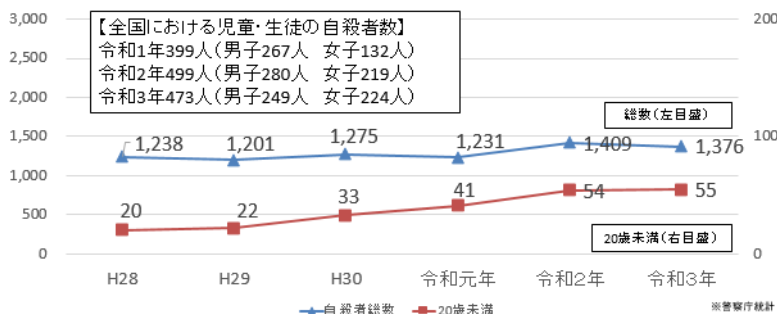
令和3年の自殺者数は、全国、大阪府ともに前年より減少したものの、新型コロナウイルス流行前の令和元年より多く、高止まりとなっています。

大阪府では、前年より33人減の1,376人でしたが、1日当たりでは3人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

令和3年の大阪府の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、15.6でした。（全国 16.8）

大阪府における20歳未満の自殺の状況

大阪府の自殺者総数・20歳未満の自殺者数の推移



【全国における児童・生徒の自殺者数】
令和1年399人(男子267人 女子132人)
令和2年499人(男子280人 女子219人)
令和3年473人(男子249人 女子224人)

令和3年における20歳未満の自殺者は前年より1人増加の55人でした。

女子は平成29年から30年にかけて、また、令和元年から令和2年にかけて大きく増加しており、男子は、平成30年から令和元年にかけての増加が大きく、男女ともに増加傾向にあります。

若者の自殺は社会への影響が非常に大きいことから、若年層への対策は特に重要で、現行の大阪府の自殺対策基本指針の課題の一つとなっています。

	H28年		H29年		H30年		R1年		R2年		R3年	
20歳未満自殺者数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	15	5	17	5	16	17	28	13	32	22	33	22

出典：警察庁及び大阪府警察本部統計、文部科学省 児童生徒の自殺対策について(令和4年2月24日)